

25	生活文化スポーツ局	東京文化戦略 2030 の実現に向けた事業
事業概要	令和4年3月に策定した東京文化戦略 2030 に基づく施策を展開し、「芸術文化で躍動する都市東京」を推進する。	
これまでの経過	<p><b>【東京文化戦略 2030 の策定】</b></p> <p>1 東京 2020 大会が終了し、新型コロナウイルス感染症の影響、持続・共生社会へのシフト、デジタル化の進展など、社会環境が大きく変化しているタイミングを捉え、令和4年3月、東京文化戦略 2030 を策定・公表（計画期間：令和4年度から令和12年度まで）。</p> <p>2 策定にあたっては、東京芸術文化評議会で議論するとともに、「『未来の東京』戦略」とも連動。</p>	
現在の進行状況	<p><b>【東京文化戦略 2030 の推進】</b></p> <p><b>1 だれもが文化でつながるサマーセッション 2023</b> 令和5年7月29日～8月6日に、芸術文化による共生社会実現に向けて「だれもが文化でつながるサマーセッション 2023」を開催。</p> <p><b>2 アートウィーク東京</b> 都内の美術館やギャラリー等のアートスポットをバスで周遊する事業。 令和5年5月に事業概要、8月に開催プログラムについて、それぞれプレスリリースを実施。また、都の SNS や広報東京都等を活用して広報を展開。</p> <p><b>3 芸術文化魅力創出助成</b> 東京都内において実施される、多くの団体や参加者が共に作り上げる様々なジャンルのフェスティバルやアートプロジェクト等の創造活動、東京の魅力として発信力・持続力のある革新的なプロジェクト等の経費の一部を助成。 令和5年第1期は163件中42件を採択。</p> <p><b>4 シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]</b> 令和5年4月にオーストリア・リンツ市の文化機関「アルスエレクトロニカ」と事業連携協定を締結。同機関フューチャーラボ共同代表の小川秀明氏を CCBT クリエイティブディレクターに迎え、新たなミッション「Co-Creative Transformation of Tokyo (CX) ～クリエイティブ×テクノロジーで東京をより良い都市に変える」を発表し、東京の都市課題と最先端の創造性を衝突させ、Art for Society の視点からプログラムを展開。</p> <p><b>5 区市町村連携事業</b> 令和5年6月に区市町村等職員を対象とした文化行政講座を、7月に区市町村連携事業第1弾を実施。また、6月から7月にかけて、各区市町村との情報共有を目的として東京都区市町村文化行政ネットワーク会議を書面により開催。</p> <p><b>6 TOKYO スマート・カルチャー・プロジェクト</b> 長期休館中の江戸東京博物館の収蔵品の新たな鑑賞体験を提供するスマートフォンアプリ「ハイパー江戸博」第2弾『明治銀座編』のリリースや、デジタル化した収蔵品の公開を推進。</p>	

今後の見通し	<p>東京都歴史文化財団及び東京都交響楽団との戦略的かつ効果的な政策連携を実現するとともに、教育・福祉・観光分野など多様な主体との連携も強化し、アーティストの成長、アートシーンの拡大、躍動と豊かさが両立した社会を目指して、文化戦略事業を推進していく。</p> <p><b>1 だれもが文化でつながる国際会議等</b> 芸術文化による共生社会実現に向け、国際カンファレンス及び国内向けの会議を交互に隔年で開催予定。</p> <p><b>2 アートウィーク東京</b> 都の SNS 等を活用して広報を展開し、令和 5 年 11 月に事業を実施。また、次年度の実施について、実績を踏まえて検討していく。</p> <p><b>3 芸術文化魅力創出助成</b> 令和 5 年 12 月に第 2 期の助成事業を採択予定。</p> <p><b>4 シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]</b> 令和 6 年 1 月から、今年度のアーティスト・フェロー 5 組が CCBT や都内街なか等で成果を発表予定。</p> <p><b>5 区市町村連携事業</b> 地域のニーズに沿った芸術文化の鑑賞体験機会を創出するため、引き続き、複数の区市町村と連携事業を実施。また、東京都区市町村文化行政ネットワーク会議及び区市町村等職員向け文化行政講座を開催し、連携事業のフィードバックを行う。</p> <p><b>6 TOKYO スマート・カルチャー・プロジェクト</b> 都立文化施設の情報通信基盤整備や、デジタル化した収蔵品の公開、デジタル技術を活用した新たなコンテンツ開発を引続き推進。</p>		
	問合せ先	生活文化スポーツ局 文化振興部 企画調整課	電話 03-5000-7227